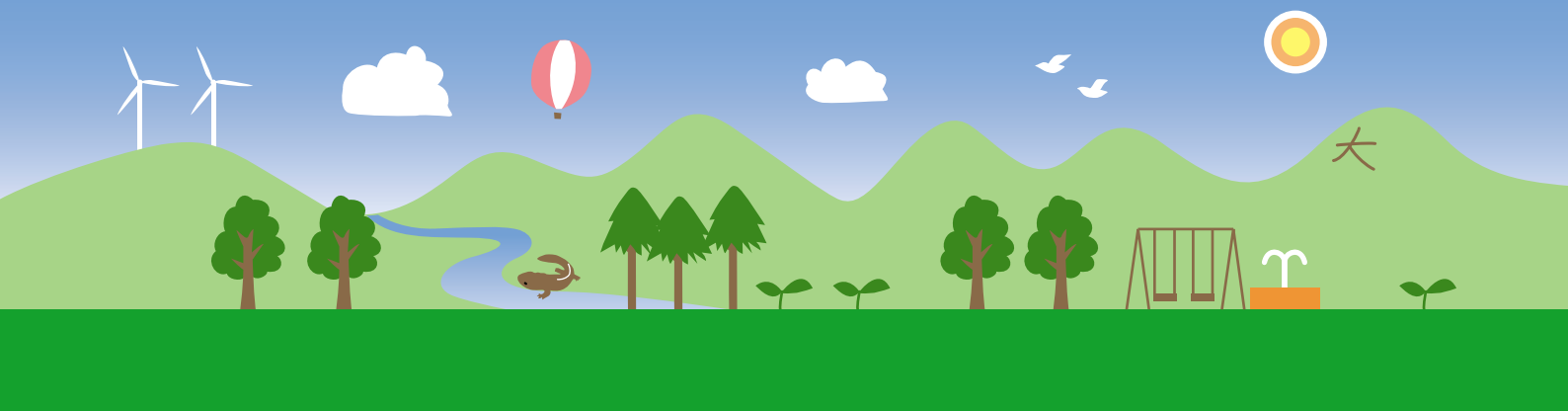


KES審査・登録事業所 環境取組事例集



ステップ1	KES Environmental Management System Standard
ステップ2	
ステップ2SR	
ステップ2En	

特定非営利活動法人
KES環境機構



KES取組事例集改訂にあたって	1
はじめてみませんか KES	2
ステップ2 SR&Enに発展させてみませんか	3
KES審査・登録事業所の環境取組事例	4

KES2SR-0001 KES2En-0001	京都駅ビル開発株式会社	KES	4
KES2SR-0002	京都信用金庫	KES	4
KES2SR-0003	株式会社 ウエダ本社	KES	5
KES2SR-0004	株式会社 半兵衛越	KES	5
KES2SR-0005	株式会社 FUKUDA	KES	5
KES2SR-0006	阪神トラック株式会社	KES	6
KES2En-0002	生田産機工業株式会社	KES	6
KES2En-0003	京都樹脂精工株式会社	KES	6
KES2-0139	金剛薬品株式会社	KES	7
KES2-0232	株式会社 丸山製作所	KES	7
KES2-0254	公栄運輸株式会社	KES	7
KES2-0317	豊国石油株式会社	KES	8
KES2-0338	株式会社 五健堂	KES	8
KES2-0544	株式会社 王将フードサービス	KES	8
KES2-0669	株式会社 シオノ鋳工	KES	9
KES1-0345	株式会社 片山工務店	KES	9
KES1-0693	株式会社 宇治吉田運送	KES	9
KES1-1110	株式会社 元奈古	KES	10
KES1-1138	宝田工業株式会社	KES	10
KES1-1204	有限会社 四条黒田	KES	10
KES2SR-1-0001	寿木材工業株式会社	OES	11
KES2-1-0012	桐生株式会社	OES	11
KES2-1-0019	公益財団法人 大津市公園緑地協会	OES	11
KES1-1-0004	ツジコー株式会社	OES	12
KES1-9-0012	株式会社 ファインパーツ	Y-KES	12
KES2-0333	大東化成工業株式会社 岡山樹脂工場	HKES	12
KES2-0365	株式会社 山下工業所	HKES	13
KES2-12-0003	株式会社 ジーエス・ユアサバッテリー中四国支社	HKES	13
KES1-0709	岡本産業株式会社	HKES	13
KES1-12-0004	福山鍛造機株式会社	HKES	14
KES2-0382	サンスターグループ東京エリア	KESK	14
KES2-13-0001	株式会社 ジーエス・ユアサバッテリー東北支社	KESK	14

※組織名の後にある英文字は協働審査登録機関の略称です（裏表紙参照）。

KES登録のメリット／グリーン調達基準にKESを適用する行政・企業	15
特定非営利活動法人 KES環境機構 ■組織概要／■役員一覧／■沿革	16
KES審査・登録におけるQ&A / KES倶楽部のご案内	17
KESと協働活動組織／お問合せ・お申込み	18



2013年7月吉日

KES取組事例集改訂にあたって

特定非営利活動法人 KES環境機構

専務理事 津 村 昭 夫



平素はKESにつきまして、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

KES（KES・環境マネジメントシステム・スタンダード）は、2001年4月にスタートし、現在では全国で取組みが広がり、審査・登録件数は4,230件（2013年6月末）、また協働機関も22になりました。KES策定の趣旨は、人・物・金の経営資源の厳しい中小企業や環境負荷の比較的小さい組織でも積極的に環境改善活動に参画していただくことであり、同時に「持続可能な発展」への貢献のための一つのツールとして活用していただくことにあります。

この「取組事例集」は、多くの皆さまから「KESを取組んだ結果として、低コストでCO₂削減など環境改善の着実な実績と、コストダウンや企業体質の強化等環境経営にも成果があった。」との報告から「これらの実績をコンパクトな環境報告書のスタイルとしてまとめてはどうか」とのアドバイスをいただき、2007年に第1号を発行しました。

以来3年間毎年改訂を重ねてきましたが、2011年の「KES創立10周年記念誌」に一部「取組事例集」を掲載したこともあり、本年まで改訂版発行を休止していました。

この間、2011年3月11日に発生した「東日本大震災」と「東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故」による深刻な被害に直面し、「今すぐの豊かさ」より「持続可能な社会」、「エネルギーの安全保障の確保」のために「低炭素・低エネルギー社会」の実現に有効な「マネジメントシステム」が求められることになりました。

そこでKESでは、2012年10月から、「**持続可能な発展への貢献を最大化**」「**エネルギーパフォーマンスの改善**」を推進するための仕組みとして、ISO26000（社会的責任に関する手引き）の要素を導入した「KESステップ2SR」、ISO50001（エネルギーマネジメントシステム）の要素を導入した「KESステップ2En」の2つの新規格を発行することとなり、KESにおける従来の取組みの「幅を広げ（KESステップ2SR）」、また「質を深める（KESステップ2En）」ことにより、さらに質の高い環境マネジメントシステムに繋げていきたいと考えています。なお、参考までにこれら新規格による現在までの審査・登録組織の「取組事例」も掲載していますので、新規格を「環境経営」推進のツールとして活用していただきますようお願いいたします。



はじめてみませんか KES



地球温暖化や環境汚染など、地球規模の環境問題には、産業界も大きく関わっています。環境問題を解決するためには、あらゆる規模・業種の企業が、環境や人類の将来を考えた事業活動を行っていくことが大切です。

地球温暖化防止京都会議・COP3が京都市で開催されたことがきっかけで、市民、事業者、行政が協力して立ち上げたパートナーシップ組織の「京のアジェンダ21フォーラム」において、企業の90%を超える中小企業が

環境に配慮した事業活動に取り組みやすい仕組みとして考案したものが「KES」です。

KESは、2007年4月2日付で「京のアジェンダ21フォーラム」から「特定非営利活動法人 KES環境機構」に引き継いで運営されています。

全国で約22カ所の協働機関においても審査登録活動を行っています。

皆さん、KESを始めてみませんか。

KESの特色 | KES(KES・環境マネジメントシステム・スタンダード)は、環境への負荷を管理・軽減するとともに環境経営の推進にも有効な仕組みです。

■ 取得にかかるコストが安く、わかりやすい。

企業や自治体・学校・家庭など、あらゆる規模・業種の組織で取り組みます。

■ 段階的に取り組める二つのステップがある。

環境問題に取り組み始めた段階を想定した**ステップ1**、将来「ISO14001」の認証取得を目指して取り組む段階で、「ISO14001」と同じような要求項目を設けた**ステップ2**があります。

■ 「持続可能な発展への貢献を最大化」を推進する二つの新規格がある。

ステップ2SR(社会的責任)とステップ2En(エネルギーマネジメント)規格。

KESを審査・登録すると…

1. 省エネ・省資源・リサイクルなどにより、コストダウンできる。
2. 環境にやさしい企業として認定され、取引等も有利になる。
3. 企業の社会的責任の証明になる。(特にステップ2SR)
4. 企業信用力が向上する。
5. 環境管理体系(PDCA)が経営管理にも応用できる。
6. 法規制順守に対応でき、環境リスクを回避できる。
7. 従業員の環境意識が高まる。

1事業所あたり、年間約10.7tのCO₂削減効果

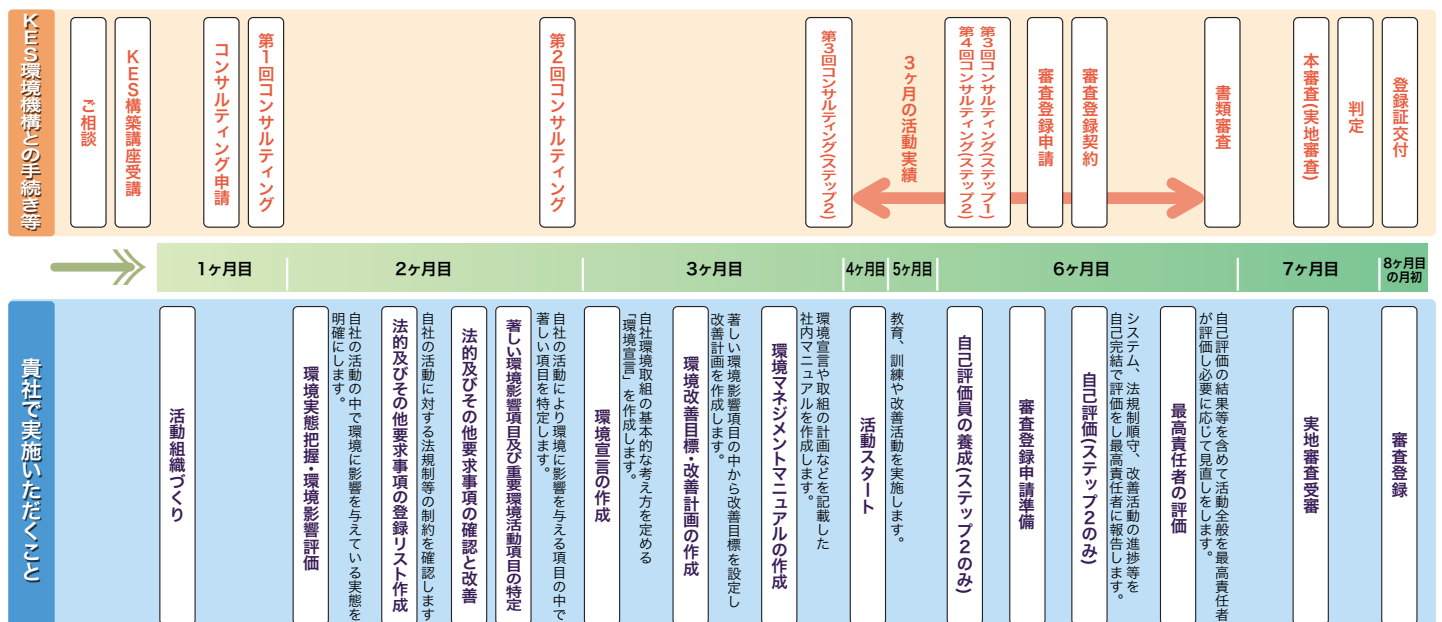
2001年から2014年8月までの間にKESを審査・登録し、電気、ガスなどエネルギーの効率的使用に取り組んだ1,308事業所(環境改善活動実績が1年以上あるもの)で、取組初年度1年間に削減されたCO₂の合計は、年間13,969t分になります。1事業所あたり約10.7tの削減となります。(調査月2014年8月)

●KESの取組によるCO₂削減効果

	電 力	都市ガス	プロパン	ガソリン	灯 油	重 油
削減量	2,793万kWh	331千m ³	39ton	546kl	102kl	595kl
CO ₂ 換算	9,972ton	712ton	117ton	1,260ton	257ton	1,647ton
取組事業所数※	1,215	80	17	257	23	45

※複数の取組をしている事業所を含む

●KESの取組手順と取組内容(ステップ1・ステップ2) [ステップ2SR・2Enの場合は以下のスケジュールの中でコンサルタントを1回追加]



ステップ2 SR&Enに発展させてみませんか



KESでは3・11東日本大震災の教訓と、ISO14001を強化するISO規格の発行を考慮して、ステップ2のオプション版である「ステップ2SR(社会的責任)」と「ステップ2En(エネルギーマネジメント)」の二つの新規格による審査登録を2012年10月から開始しました。

私たちは、東日本大震災の未曾有の被害状況とその後の復旧状況から「持続不可能な状況」が、ますます拡大していることを思い知らされました。また、同時に発生した原子力発電所事故により、「エネルギー供給の危うさ」を、多くの方々が痛感されたと思います。

一方、ISOにおいては、2010年にISO26000(社会的責任に関する手引き)、2011年にISO50001(エネルギーマネジメントシステム)が発行されました。前者は「持続可能な発展への貢献を最大化」することを目的として発行され、後者は「エネルギーパフォーマンスの改善」に特化したマネジメントシステムです。

以上のような状況変化を考慮して、KESでは「持続可能な発展への貢献を最大化」「低炭素・低エネルギー社会」を推進するしくみが必要であると考え、二つの新規格を発行し、審査登録事業を開始しました。

KES新規格とISO規格の関連性

持続可能な発展：ISO14001対応 ⇒ KESステップ1
(初級バージョン)

持続可能な発展：ISO14001対応 ⇒ KESステップ2
(中級バージョン)

取組みの幅を広げる

KESステップ2SR

持続可能な発展への貢献を最大化：ISO26000の要素を導入

★KESステップ2SRでは、ステップ2の環境改善目標に加えて、社会的責任の「中核主題」「著しいSR影響項目・重要SR活動項目」を特定し、SR課題を設定して、課題達成のための取り組みを行っていただきます。

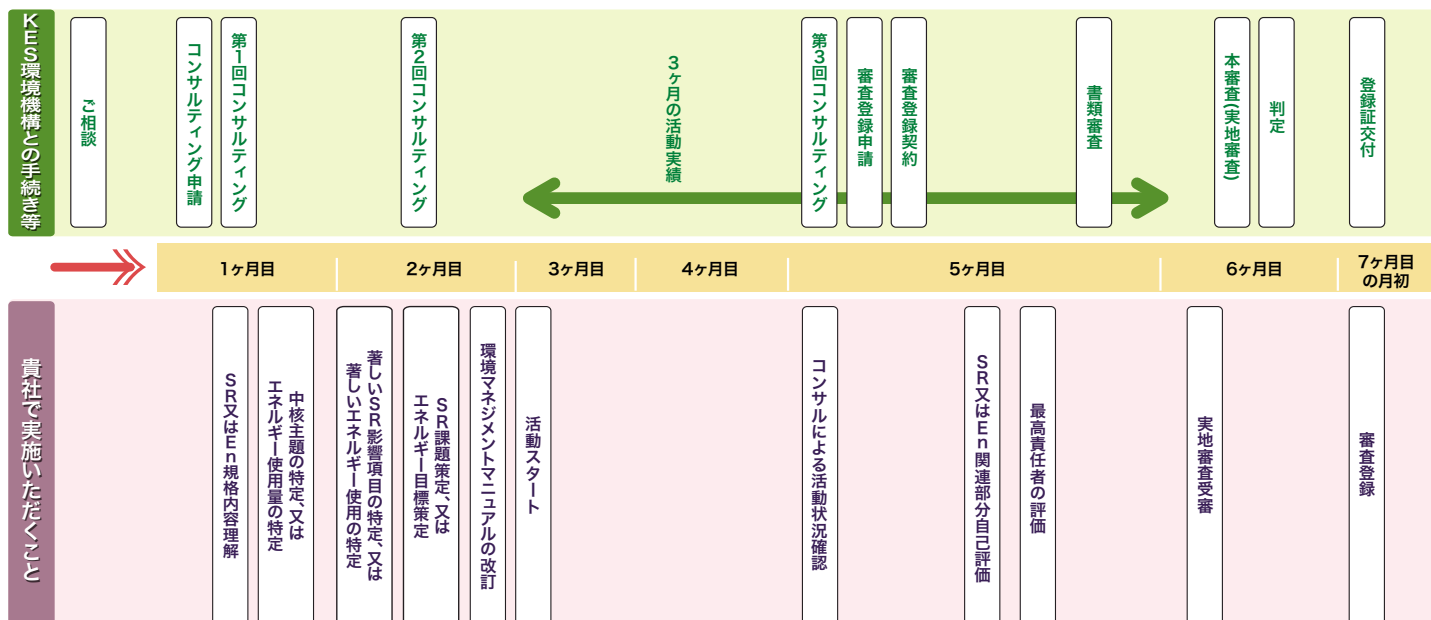
取組みの質を深める

KESステップ2En

エネルギーパフォーマンスの向上：ISO50001の要素を導入

★KESステップ2Enでは、ステップ2の環境改善目標に加えて、エネルギーレビューにより「著しいエネルギーの使用」を特定し、エネルギーパフォーマンスの向上の取り組みを行っていただきます。

●「ステップ2」から「ステップ2SR」又は「ステップ2En」への移行手順（新たな取得はS1,S2の手順を参照ください）



KES審査・登録事業所の環境取組事例

—はじめています環境経営—

ステップ1

ステップ2

ステップ2SR

ステップ2En

KES

Environmental
Management
System
Standard

京都KES

KES2SR-0001

京都KES

KES2En-0001

京都駅ビル開発株式会社

当社は、これまで地域の清掃活動や、地球環境保護のための屋上緑化（葉っぱいであす）や電球のLED化等に取り組んでまいりましたが、開業15年目にあたり、企業理念にある「日常の業務を通じ、地球環境の保全に貢献します」のさらなる実践、深度化を進めるため、KES新規格（ステップ2SR、ステップ2En）に全社を挙げて取り組み、このたび登録をいただきました。

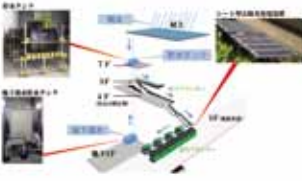
「下京・京都駅前夏祭り」

去る8月25日、京都駅ビル開業15周年記念事業として、地元区民の方々と一緒に「下京・京都駅前夏祭り」を開催し、地元をはじめ、観光客など多くの皆様にご来場いただき大盛況のうちに終了しました。グルメ屋台やお遊びコーナーなどのほか、ステージでは演奏、フラダンス、クイズ大会等が催され、地元の方々、観光客、社員が一体となって祭りを盛り上げ、“絆”を深く体感した一日であったと思います。



「緑水歩廊」

駅ビルで調達できる雨水と地下湧水を使って緑が育てられないか？ そんな思いから生まれた緑化施設です。貯めた水を重力により循環させ、地下湧水の汲みあげにも太陽光発電を使用する等、自然力を最大限に活用しています。日本の原風景や京都らしい自然を表現するために、植栽選びにも工夫を凝らしています。



「風車の木」

自然力だけで何かできないか？ そんな思いから生まれた風車を利用した新しい試みです。自然の力を感じ、自然の力のゆらぎ、時には儚さを感じる、そんな夜の演出を実験展示として「風車の木」と名づけました。上部の縦型風車発電機のみで電力を供給、また照明部分は極力

消費電力を抑えるため、LEDの数を最小限にできる編みこみ光ファイバーを使用しています。

以上、自然の恵み、自然の力について、何かを感じていただければ幸いです。

今後も、地域コミュニティ活動への参加や電力使用量・事務用紙使用量の削減、食品残渣の再資源化率向上等に継続的に取り組んでまいりたいと考えております。



〒600-8216

京都市下京区塩小路通烏丸西入東塩小路町614
新京都センタービル8F

TEL：075-361-4460 FAX：075-361-4479

URL：http://www.kyoto-station-building.co.jp/

創立年月：平成2年10月

京都KES

KES2SR-0002

京都信用金庫

コミュニティ・バンク京都信用金庫は、京都市そして京都府・滋賀県・大阪府の一部を営業地域として、会員・地域の皆様そして地域社会の発展に寄与することを基本理念としている協同組織金融機関です。

当金庫が環境に対する地域の皆様の取組を支援するためには、まず私たちが環境マネジメントシステムを確立し、その効果を確認することが重要であると考え、平成22年に「KESステップ2」の登録を全店で受けました。

数あるマネジメントシステムの中からKESを選んだのは、



地元発祥の規格であり、当金庫の主要のお客さまである中小企業が取り組みやすい仕組みであること。また、全店で取り組めるということからです。そして、平成24年に「KESステップ2SR」の登録を全店で受けました。

当金庫では、SR活動の一つとして、店舗がそれぞれ工夫して「地域の絆づくり活動」を実施しています。NPO法人と協働で取り組む大阪の天野川、京都の桂川、山科川などの河川清掃活動をはじめ、店舗の周辺など、各店舗が積極的に地域の清掃活動に取り組んでいます。また、太陽光発電や風力発電の設備を備えた環境配慮型店舗の枚方支店では、地域の小学生を対象とした「夏休み子ども環境教室」を毎年開催し、ご好評をいただいております。

今後もKES環境マネジメントシステムの推進により、「かけがえのない地球環境」と調和した地域社会の繁栄を追求し、地域の皆様との絆を育み、コミュニティの発展に全力で取り組んでまいります。



〒600-8005

京都市下京区四条通柳馬場東入立売東町7番地

TEL：075-211-2111

URL：http://www.kyoto-shinkin.co.jp/

創立年月：大正12年9月

株式会社 ウエダ本社

当社は、オフィス空間作りに携わる企業として、「人」・「組織」・「地球環境」の観点からオフィスが抱える様々な問題を解決していくことが私達のSR（社会的責任）と考え、働く場や働き方の変革を目指して「エコオフィスプロジェクト」を始めました。地球環境にとって良いことと、人が働く環境として良いことは決して矛盾するものではなく、それらが重なり合う部分を上げていくことが、組織として成果を上げることにつながっていくと考えています。

そうした考えに基づき、先日当社では自社オフィスのリニューアルを実施し、これまでほとんどオフィスで使用されること



の無かった木製の家具・備品等を思い切って導入いたしました。

オフィスに求められる要素も、



「事務作業の効率化」は今や当然のものとなり、最近では付加価値を生み出すためのアイデアや情報リテラシーなど、「知的生産性の向上」が求められるようになってい

ます。そうした変化を受けて実施した今回のリニューアルは、「人」に対しては木の温もりがもたらすコミュニケーションの促進とストレス軽減効果を期待し、「地球環境」にとっては木材の新しい需要を開拓することで森林を活性化させ、同時に地元京都の木材を使用することで地産地消によるCO2削減に繋がっていきたくと考えています。そして、「組織」にとっては働く人のモチベーションや仕事に対する考え方に変化を与え、成果の上がる組織へと成長し

たいというのがリニューアルの目的です。

私達自身もまだまだ取り組みの途上ではありま

すが、自社オフィスにおける取り組みを経て、良いものであればそれを広げていきたいと考えていますので、KESステップ2SRのマネジメントシステムを活用して、より一層エコオフィスプロジェクトの取り組みを進めて参ります。



〒600-8103

京都市下京区五条通堺町角塩電町363

TEL : 075-341-4111 FAX : 075-341-5738

URL : <http://www.ueda-h.co.jp/>

創立年月 : 1938年5月

株式会社 半兵衛麴

当社は、1689年（元禄2年）に初代玉置半兵衛が京都の町で麴づくりを始めました。

当代11代目、創業以来325年間、家訓「先義後利」「不易流行」の精神を受け継ぎ、その時代に合わせて、お客様や世間のお役に立てる会社を目指しております。

また、社は「感謝」のもと、自分を取り巻く全てのものに感謝し、且つ自らも感謝される行動をすることで社会との絆を結び、地球環境との調和に取り組んでいます。

この数年、KES認証取得に取り組んでまいり、今回のステップ2SRは、325年続けてきたことで



認証を受けることができました。この精神を忘れず、次代へもつなげるように取り組んでまいりたいと思います。

社は「感謝」

人さま ありがとうございます

お客様に 納入してくる人に

お電話の人に 一緒にお仕事する人に

過去の人も 生きている人も

みなさま ありがとうございます

色々なものに ありがとうございます

水に 材料に 紙に 道具に 自動車に

いっぱい いっぱい

与えていただき 便利に使い

色んなものに ありがとうございます

ご縁を ありがとうございます

社会に 集いに

いろんな事を教えていただき

人との出逢い 物との出逢い

仕事との出逢い

出逢いに ありがとうございます

自然に ありがとう

花に 動物に 土に 火に

太陽に 雨降りに 今日目覚まし

生かせていただいて ありがとう

ありがとう と

繁栄と幸せに感謝し みんなからも

ありがとう と

いわれるような人に

なりましょう



〒605-0903

京都市東山区間屋町五条下る二丁目上人町433

TEL : 075-525-0008 FAX : 075-531-0748

URL : www.hanbey.co.jp/

e-mail : info@hanbey.co.jp

創立年月 : 1689年（元禄2年）

株式会社 FUKUDA

KES取得の経緯として弊社では業務形態上、法の規制を守ることが企業として重要なことと考え、ISOの取得も検討しましたが、京都発祥の環境マネジメントの存在を知り、弊社が



【近隣の方々と清掃活動の様子】
(ローソン大宅神納町店様、ニジュウマル様、山科ディサービス様)

地元京都の企業であることも理由となり取得に至りました。

環境改善の取組内容は自動車燃料使用量の削減、電気使用量の削減、エコ商品の販売、一般ゴミの削減、清掃活動の5項目でそれぞれの項目で取得年度から大幅な改善ができております。

その中、削減にも限界がありKESの新規格で「KESステップ2SR」の取得を決定し取組項目として、当社が環境配慮型商品として考えた新しい自動車潤滑油の販売システム「IBCローリーサービス」(※この販売システムによりエコマーク認定取得)によるエンジンオイルの量り売りを拡販することを目指し新規格「KESステップ2SR」の登録ができました。



【環境配慮型商品 IBCローリーサービス】

〒607-8170

京都市山科区大宅向山6番地

TEL : 075-573-3030 FAX : 075-575-1144

URL : <http://fukuda-lub.co.jp/>

e-mail : ymiyagaw@fukuda-lub.co.jp

創立年月 : 1969年9月

阪神トラック株式会社

戦後の京都市は、GHQが清掃・美化を指示するほど荒れていました。市からの要請を受け家庭ごみ収集運搬業務等に携って68年。現在では国際文化観光都市京都の美化に貢献する中核として企業活動を展開しています。当社は、KES活動が中小零細企業を対象とするマネジメントマニュアル方式であり企業の品位・品質の向上、地球環境保全、社会貢献が図れる優れた規格制度と評価し、

2006年にステップ1、2007年ステップ2、2014年にはステップ2SRを取得しました。2013年には社会貢献として教育委員会と協議の上、障がい者雇用を積極的に取り組む資源ごみの分別事業を受託し2年目を迎えました。今年度からは新たに生物多様性保全の取組みをスタートさせます。又、日々稼働のパッカー車には廃食用油を使用するなど環境保全を実践しています。



〒615-0042

京都市右京区西院東中水町8・9番地

TEL : 075-312-6671 FAX : 075-315-3251

e-mail : info@truck.hanshin.co.jp

創立年月 : 昭和29年4月

	環境社会貢献改善項目	目標値	具体的取組内容
1	エコドライブ向上策	Bポイント425以下	安全エコ運転を全員毎日Aランクに近付ける
2	環境人権教育研修	年300ポイント以上	環境学習、人権研修、社会貢献学習の教育講習
3	新地域美化活動	年500ポイント以上	会社周辺、西大路五条近辺清掃、居住地域清掃
4	障がい者雇用計画推進	7Pのアクション実施	市教育委員会の障がい児支援校と連携を図る
5	生物多様性植物の保全	二葉葵等の数鉢育生	絶滅危惧され、京都市からの推薦の植物育生

生田産機工業株式会社

生田産機工業(株)は、非鉄金属業界向けの生産設備の開発から製造を一貫して行うメーカーです。ここ数年、長年のものづくり技術力を活かして、風力発電機や省エネ機器をはじめとする環境分野にも事業の幅を広げております。

KESの取り組みは、2007年から開始しました。お客様に納入する生産設備の計画において省エネ化やリサイクルなど環境に配慮した考え方を提案することを通じ、微力ながらメーカーとして地球環境負荷削減の一端を担うことを目指しています。

さらにLED照明をはじめとする省電力化機器・装置を販売から工事まで一貫して対応しています。既存の顧客だけでなく周辺や遠方の建物の事務所向けには蛍光灯形、工場や駐



車場向けには投光器(水銀灯)形への置き換えの助言から導入のお手伝いをさせていただくことで、自社だけでは到達できない削減「量」の効果を実現しています。

KESステップ2Enは、社内の使用電力の削減を徹底的に図る取り組みとして昨年度よりスタートしました。各配電盤に電力量計を取り付けることにより、従来一括でしか管理できなかった社内の電力量を各場所、各機器単位で管理ができるようになります。現状把握をしっかりと行うことにより、職員一人ひとりが新

た視点からKESに取り組むことができる体制づくりを目指しています。



〒612-8241

京都市伏見区横大路下三栖辻堂町6

TEL : 075-611-4347 FAX : 075-622-4391

URL : http://ikuta-sanki.com/

創立年月 : 昭和28年4月1日

京都樹脂精工株式会社

① 会社プロフィール

京都樹脂精工株式会社は、創業以来約半世紀の間「Noとは言わないモノづくり!」イメージをカタチにします。」をモットーに精密樹脂加工の可能性を追求し続けている企業です。

② KES審査・登録のいきさつ

地球環境問題に対する要求が各所で高まっていた中、当社としても社会的な企業責任を果たせる企業づくりを目指していました。その中でKESに出会いその目的と企業目標が一致したことが、KES登録のきっかけとなりました。

③ 環境改善活動の取り組み内容

当社では、電気/廃棄物/紙/車燃料/水道水の使用料金を原単位で換算した数値を「環境費用」と名付け、2002年度より毎年この環境費用を削減する活動を続けています。結果、2012年度には環境費用が0.846となり、対2002年度比で0.154の削減に成功しました。(図1)



(図1)

④ 改善項目・実績

2012年度には環境費用の70%を占めていた空調機を「省エネルギー型」に変更しました。これにより、2013年度の電力料金を20%削減する計画でありましたが、料金の値上げにより環境費用としては前年度並みになると予測しています。

また、環境費用の12%を占める廃棄物において、昨年より処理費用の低減をすすめられているため、2013年度は環境費用の3%削減が可能になると見込んでいます。

我々は、この環境費用低減が重要な目標であるとの認識を持ち活動し続けています。

また、2006年度からは地元久御山町の環境情報交換会の設立に参画し、地域社会での環境活動も行っています。

⑤ 成果・今後の抱負

京都樹脂精工株式会社では3つの改善活動を行っています。(図2)「地域への環境協力」では、地元企業の環境担当者と情報交換会、勉強会を開催すると共に、地域の美化活動等を実施しています。今後は「環境改善活動」の進歩的な活動を図ると共に、この「地域での環境活動」にも力を注いでいきたいと考えています。



(図2)

〒613-0031

京都府久世郡久御山町佐古外屋敷150

TEL : 0774-48-2211 FAX : 0774-48-2212

URL : http://www.kyojushi.co.jp/

e-mail : info@kyojushi.co.jp

創立年月 : 昭和42年2月15日

金剛薬品株式会社

全員参加で 環境改善活動に取り組み 自然を守り 自然の恵みを大切にしよう!

当社は、健康をテーマに事業展開し実績を重ねて来ましたが、事業を進める中で地球環境の保全が経営の重要課題と認識し、社長の強い意向及び営業部門の要望等により環境システムを導入し、全社的に環境改善活動に取り組むことになり、ISOに準拠したKESステップ2の認証を取得しました。

環境改善目標は (1) 電気使用量の削減 (2) ガソリン使用量の削減 (3) 事務用紙使用量の削減 (4) 産業廃棄物の削減 (5) 化学物質・製造設備の安全管理 (6) グリーン調達推進 (7) 会社周辺の環境美化等社会貢献の7項目で、その内特に削減4項目については、別表に示す通りです。KES導入による効

果は、社員の環境意識の高揚とともに諸施策を積極的に実行したことにより、目標を大幅に削減できました。

一方、これらの削減項目は、年々削減目標の達成が困難になってきており、施策等で壁にぶち当たる場合があります。従って①視点・角度を変えた改善項目と目標の設定②削減一辺倒でなく削減された水準の維持管理などの必要性があると考えています。

地球規模で資源の大切さや気候変動が

	2004年度	2012年度	削減率[%]
1.電力使用量削減 (kWh/年)	226,187	193,877	14.3
2.ガソリン使用量削減 (L/年)	26,130	19,988	23.5
3.事務用紙使用量 (枚/年)	483,238	241,148	50.1
4.産業廃棄物 (kg/年)	44,740	12,985	71.0

クローズアップされ、1997年の京都議定書採択 (COP3) から2012年のドーハ会議 (COP18) に向け全世界各国は環境保全と経済が両立した「継続可能な発展」が論議されており、今後ともより一層レベルアップを図り、全社一丸となって地球環境に優しく継続的なKES活動を行って行きたいと考えます。



会社周辺植樹緑化・通路脇バラ並木

〒930-0834

富山市問屋町1丁目8番7号

TEL : 076-451-0187 FAX : 076-451-1030

http://www.kongo.co.jp/

e-mail : honsya@kongo.co.jp

創立年月 : 昭和21年2月23日

株式会社 丸山製作所

創業から54年、近年目まぐるしく我々の精密切削加工業も変化しています。『激動に耐えるべく技術を磨き進化しよう』を目標に、日々従事しています。

その一環で、昨年12月全日本製造業コマ大戦に参戦。

使用するコマは各社で設計、製作。直径20mm以内の条件を満たしていれば材質・重さ・形は自由。土俵で相手コマより長時間回り続けた方が、勝利。ルールは簡単、しかし全国200社が参戦し各



社が最高の技術を結集させ勝ちに行く。まさに製造業のプライドの戦いです。当社は、見た目にも美しい真鍮ボディのコマで近畿大会突破。本年2月横浜パシフィコでの全国大会へ。残念ながら2回戦には進みませんでしたが、技術の追求と結束力は実感できました。そしてコマ製作に端材利用し省エネを実践しました。

他の環境活動においては、2006年KESステップ2の取得で拍車が掛かり精力的に、活動しています。



特に啓発活動の一つとしての社屋外周清掃活動は、行政と連携し、定期的に活動しています。また、防災訓練ではAED操作研修を取り入れた講習を受講。全従業員がAED操作を体験しました。

KES活動も7年。環境活動の意義も理解し、習慣化されています。



〒613-0024

京都府久世郡久御山町森川端89番地1

TEL : 075-632-5577 FAX : 075-632-5566

URL : http://www.maruyama-ss.com/

e-mail : info@maruyama-ss.com

創立年月 : 1959年11月

公栄運輸株式会社

当社の業務は、京都市と契約を結び、パッカー車を使用して、家庭ごみ収集運搬という環境問題に直接関わる仕事なので、何か小さな事からでも環境に対する負荷軽減ができないものかと考え、KES環境機構の存在を知り、KESステップ2を、平成18年に審査登録させて頂き、今年で7年目になります。

審査登録以前からの取組みといえば、京都市が地球温暖化防止を目的に、地球環境にやさしいBDF燃料を開発され、当社も、貨物運送事業者として、少しでも環境負荷の軽減に役立つよう、このBDF燃料を平成9年11月から当社の収集車に使用し、現在に至っております。

審査登録後は、これを機会に、京都市が推奨している3R検定や環境社



会検定 (エコ検定) 受験希望者を社内から募り、テキスト代や受験費用の助成を積極的に行う事で、本年度の合格者も含め、現在では、3R検定合格者6名、低炭素社会検定合格者3名、環境社会検定 (エコ検定) 合格者6名が中心となり、当社の環境啓発に取り組んでおります。

平成18年5月から継続しておりますが、会社周辺の道路や歩道を約2キロに渡り、毎月、黄色いユニホームと帽子で清掃活動を行っております。



現在、力を入れているのが、平成20年から始めた紙芝居の製作と実演で、1年で1作を目標に、現在は5作品を所持しております。メンバーは、他の企業様や一般市民さん、大学生の方と共に協力して、幼児向けの自作の環境紙芝居の出前授業

を行い、自然エネルギーを利用した玩具を通じて、幼児に分かりやすく啓発しております。昨年は、京都市内の保育園2カ所と市内のイベント2カ所で行い、たくさんの園児や親子連れの方々に、紙芝居を見て頂きました。又、紙芝居は、幼児期から環境に対する関心を持ち続けて頂く、少しでも足がかりになればと思い、活動しております。



〒612-8246

京都市伏見区横大路芝生30番地の1

TEL : 075-602-2627 FAX : 075-602-2629

創立年月 : 昭和50年6月

豊国石油株式会社

創業以来60余年、恵まれた立地条件と先進のプラントで、豊国石油は様々な企業のニーズに応え、多種多様の潤滑油を提供しています。

取引先からのグリーン調達要請において、KESが認知されていたため導入を検討。(2006年、高石商工会議所のKES説明会に参加し、他と比べて当社に適すると判断した)

第8版の環境宣言(環境改善目標)を、大きく二つに分けました。まず全社活動2項目特に「環境安全・エネルギー・地域コミュニティ」、もう一つは生産性向上を目指し「日々の職場作業」に連動した4項目を選定しています。

「KESの強調活動」を紹介します

- (1) 環境活動の全社発表会・・・KES活動の理解と全員参画を目指す
- (2) 地域コミュニティ作り・・・隣接企業9社に参画していただき「高石市高砂二丁目周辺の環境活動」を2ヶ月毎に実施し企業価値を高めて

います(自由参加ですが、毎回60名位集まります)

- (3) みんなで築く自主防災・・・企業責任として、毎年「総合防災訓練」を実施しています



高石市高砂二丁目周辺の環境活動



オイルフェンス展覧訓練



総合防災訓練(消防署と合同訓練)



オイルフェンス展覧訓練

平成25年「環境改善目標」

- ① 工場の契約電力1%削減 (全社)
- ② 環境啓発(コミュニティ作り) (全社)
- ③ 廃プラドラム缶の資源化 (製造課)
- ④ 5S活動で環境負荷軽減 (管理課)
- ⑤ 環境によりやさしい商品の提供 (製品開発部)
- ⑥ 検査室の作業管理で環境負荷の軽減 (品質管理課)

〒592-0001

大阪府高石市高砂二丁目6番地

TEL : 072-268-1581 FAX : 072-268-1592

URL : <http://www.hokoku-oil.co.jp/>

e-mail : fujiwara@hokoku-oil.co.jp

創立年月 : 昭和27年6月

株式会社 五健堂

弊社は、物流センターを運営し、一拠点に集められた食料品類をスーパー・飲食店・工場・会社・小売店などに配送する食品物流を主たる業務としております。平成19年11月にKESステップ2を取得して以来、社員全員が一丸となり、KES活動に取り組んでいます。環境管理重点テーマは、①電力使用量の削減 ②一般廃棄物発生量の削減 ③グリーン購入(調達)の推進 ④事務用紙使用量削減 ⑤自社周辺の清掃等啓発活動の五つです。平成23年事業拡張のため、新しく建築した倉庫を8月より稼働させることができました。冷凍・冷蔵機能を持たさない、ドライセンター(常温倉庫)です。それまでは、常温で取り扱える商品もチルドの庫内で荷受けから、仕分け、出荷発送及び配送でしたが、倉庫を分ける事で、冷蔵庫の開閉、接客時のバース開閉が1日当たり約30分～1時間として1か月15時間～30時間の冷気を漏らさない庫内の温度を上げない!電力の節約になっている

と思います。また、平成25年5月に、施設内の全ての電灯をLEDに変えました。電灯の本数にすると1,209本です。弊社、年中無休24時間稼働のため施設内の一部を省いては、電気を消す事が無いのですが、LED導入することで、電灯を取り換える時期も大幅に延びて、作業時の危険性も少なくなり、電気代の節約は間違いなしです。もう一つ大きな取組みといたしまして、太陽光発電機(ソーラーパネル)を導入いたしました。京都市伏見区では、平成25年度、最大のパネル数を設置しました。猛暑続きのこの夏はたくさんの電気の供給ができるのではないかと楽しみにしています。最近の太陽光発電はどれだけのエネルギーが作られ、どれだけの供給ができたかなど、大き



なモニターを使ってわかりやすく表示される仕組みがセットになって販売されているようです。弊社の玄関を入ると直ぐにモニターが誰にでも目につくような設置場所で、結構楽しみにしています。

自社周辺の清掃活動ですが、毎月第三水曜日に、自発的に社員が集い、継続しています。一人ではできない事も、みんなの力でできるようになっていく事がKES活動の素晴らしいところだと思います。環境は本当に大切なものです。KES活動を継続することがより良い環境のために、やるべき事だと実感します。

〒612-8251

京都府京都市伏見区横大路菅本2-58

TEL : 075-612-6688 FAX : 075-612-5050

URL : <http://gokendo-gp.com/>

e-mail : y-hasuo@gokendo.co.jp

創立年月 : 平成2年4月

株式会社 王将フードサービス

当社は今年でKESステップ2を取得し4年目に入りましたが、初年度より一貫して「電気・ガス・水道の削減」を主要テーマとして掲げております。

ただ、当社の店舗の性質上、お客様に負担をかける対策というのは困難な状況です。例えば店内の温度設定を一律に決めたり、営業中に店内照

明の一部を消したりという事は節電・省エネになる事はわかっているけどもできないというのが実情です。ただ、電気を中心としたエネルギーコストは年々上昇しており、また、特に夏場の節電対策という事はCSRの観点からも、無関心ではいけないという現実があります。

このような状況の下、当社が取り組んでいる対策と致しましては「省エネ」「創エネ」「零エネ」対策です。具体的には大幅な使用電力削減に繋がる店舗照明のオールLED化や窓や外壁の遮熱・断熱対策、太陽光発電装置、太陽熱ソーラーシステムなどに加えて、化石由来のエネルギーを使用しない「無電源自動ドア」や「自然光導入システム」「独立型 蓄電・発光照明」などを積極的に導入しています。



今後も無駄の削減を継続して行い、並行して「省エネ」「創エネ」「零エネ」対策を行う事で、お客様に「餃子の王将」を更に愛していただけるよう、努めてまいります。



〒607-8307

京都市山科区西野山射庭ノ上町294番地の1

TEL : 075-592-1411 FAX : 075-592-1411

URL : <http://www.ohsho.co.jp/>

創立年月 : 1967年12月

株式会社 シオノ鋳工

当社は、京都府北部の与謝野町で鉄鋳物の製造を中心に事業を行っています。創業は、1830年頃（天保年間）に遡りますが、2006年8月よりKES取得に向けての取り組みを始めました。

取得のきっかけは、顧客からの取得要請でしたが、【資格を取得すること】が目的とならないよう、「環境に良いだけでなく、自社にとっても良いことを！」という視点で取り組んで参りました。

当初は、構築の手引きを読んで、書類を作成するだけでも大変苦労していましたが、現在、特に活動2年目から取り組み始めた不良率の低減において、大きく成果が顕れています。

不良率を低減することで、再生産にかかる無駄な資源やエネルギー（＝コスト）を省くことができ、環境への負荷の低減と、当社にとっての利益を両立できると



いうことで取り組みを始めました。取り組み1年目は、目標を達成できるどころか、前年度より悪い不良率になってしまうという結果でしたが、あきらめずにKESの仕組みの基本となるPDCAのサイクルをコツコツと続けることにより、初年度3.72%だった不良率は、昨年度1.52%に、更に現在では、1%を切ることも現実的な目標として見据えることができています。

不良率の変遷と不良品金額換算による削減額の比較					
年度	2007-8年	2008-9年	2009-10年	2010-11年	2011-12年
生産量(t)	1,815.0 t	719.5 t	660.6 t	1,169.0 t	989.9 t
不良率(%)	3.72%	3.47%	3.40%	1.98%	1.52%
不良品金額換算(万円)	1080.3	399.5	359.4	370.3	240.7
削減率(%)	0.0	28.8	33.8	32.4	34.8

また、以前は、「個人のわがまま」を源とする意見が、部署ごとの「言い分」として幅を利かせ、たとえ有効な改善提案であっても、そういった「言い分」の抵抗に遭い、なかなか前に進まないという空気が社内に蔓延していました。しかし、社員の環境への意識が高まっていくにつれ、「全体が最適であること」を基準として物事を考えられる雰囲気根付き始めています。

KESの活動を通して、コスト削減による物質的な利益を得られただけでなく、社員一人一人の成長（個人のスキルアップということではなく、人間性の向上という意味での成長）に繋がっていると感じています。



〒629-2421

京都府与謝野町字金屋1917-1

TEL : 0772-42-6288 FAX : 0772-43-0297

URL : <http://www.shiono-cast.com/>

創立年月：1971年1月

株式会社 片山工務店

① 会社のプロフィール



1973年（昭和48年）

京都山科にて創業。

一般住宅の新築、改築など住宅関連でより安心できる素材を使用し高性能で長持ちする家、住みよい家の提案をしています。



② KES審査・登録のいきさつ

建設業は近隣に車両の通行、廃材搬出、ゴミの発生、騒音など、多大な迷惑をおかけするのが日常となっています。環境に積極的な配

慮ができるシステムに取り組むことで社会に役立ちたいのと思いが、KES審査をうける動機となりました。

③ 環境改善の取組内容

1. 電力使用量の削減
2. 自動車燃費の削減
3. 省エネ・エコ生活推進活動

④ 改善項目・実績

	2010年度	2011年度
電力	3665kWh	3244kWh
燃費	10.29km/L	12.33km/L
推進活動	23件	36件

⑤ 成果・今後の抱負

片山工務店は総合建設業に係る全ての活動、設計施工及びサービスの環境影響を低減するためにKESを通じて地球環境との調和

を目指し、主に電力（社内）、自動車燃費、省エネ・エコ生活推進活動を中心に取り組んでいます。

この取り組み以外にも環境に影響のある物に対し、全従業員一人一人が積極的に取り組める様、環境問題について真剣に向き合い、努力し、社会に貢献できればと思います。



〒607-8422

京都市山科区御陵封山町1番地の9

TEL : 075-581-0338 FAX : 075-502-0814

URL : <http://www.katayama-komuten.jp/>

e-mail : info@katayama-komuten.jp

創立年月：1973年（昭和48年）

株式会社 宇治吉田運送

当社は、引越・婚礼・一般貨物・事務所移転・家具移動・一般貸切バス等、「人・物すべてを運びます」をキャッチフレーズに、運送業として地道にコツコツと今年51期目を迎えさせていただきます。

KESには2007年6月から取り組み、現在7年目の活動に入っています。

最初はKESに対して理解できていない社員が多かったですが、役職を中心に何度も話し合い、社員に何度も説明することで、少しずつですが、社員自ら行動するようになりました。

特に、啓発活動として最初は会社周辺の清掃だけをしていましたが、町内の溝掃除や近くの府道や緑道にまで目がむくようになりました。さらに緑化運動も行うことで、社内の雰囲気も明るくなり気持ちよくお客様を迎えられるように

なりました。

今後も一人一人の意識向上に努め、「環境にやさしい会社」として、KESに積極的に取り組んでいきたいと考えております。

●環境重点項目

- (1) 省エネルギー化
水道使用量の前年目標維持
- (2) 環境教育
- (3) 啓発活動
会社周辺の清掃と美化



〒611-0002

宇治市木幡東中34-7

TEL : 0774-31-8291 FAX : 0774-33-3333

URL : <http://www.ujiyoshida.co.jp/>

e-mail : unso2@ujiyoshida.co.jp

創立年月：1964年2月

株式会社 元奈古

「京都市伝統的建造物群保存地区」に佇む旅館

宿から一步踏み出せば目の前は既に観光地「ねねの道」。街中の喧騒から離れ、東山にある有名な寺社仏閣は徒歩圏内、夕暮れ時の鐘の音、京都の季節や情景といった情緒を余すこと無く体感できる旅館です。



京都には数多くの宿泊施設があり、その中でも伝統・風土を色濃く残している木造旅館。世界の人々に京都の「おもてなし」を伝える役割を担っている旅館でありたいという思いから、2010年8月に京都市東山区に存在する「旅館業」の中で、最初に「KESステップ1」を取得した旅館となりました。

目標に掲げた「電力・水道」使用量の削減は、京町家の工夫を凝らした四季折々の自然エネルギーへの回顧に繋がり、「廃棄物」の削減は、無駄を省くことでお客様に還元でき、またいつまでもきれいな町でいられます。

これからも世界中のお客様をお迎えできるよう、文化都市「京都」に存在する一企業の責任として、環境に優しい旅館づくりを目指しています。環境への配慮は、お客様への「新しいお

もてなし」あたたかい旅館づくりの行動です。日本の文化である旅館業の発展の為に日々努力し、地域に貢献できる企業の育成に努めます。

	削減率（導入前－導入後）
電力使用量	11%（H21－H24）
水道使用量	7%（H23－H24）
廃棄物排出量	45%（H21－H24）

〒605-0072

京都府京都市東山区高台寺道鷺尾町511

TEL：075-561-2087 FAX：075-561-2655

URL：www.motonago.com/

e-mail：ryokan@motonago.com

創立年月：1965年

宝田工業株式会社

昭和30年に操業開始後、約60年間にわたり京都から日本各地の農機具業界向け「精米機・製粉機」などの食品加工機械を製造販売してきた会社です。現在では、農機具業界だけでなく食品業界を対象に、粉体機器(原料を微粉化する機械)などの製造販売をしています。



弊社では、環境問題への関心の高まりを受け、2011年1月にKES認証を取得しました。長年、食品加工機械の製造販売業を営み、『農業』という環境と密接な関係にある分野に関わってきた弊社では、モノづくりの観点から

環境に貢献することを目指し、KESのシステムを活用したモノづくりを実践しております。

KES取得後は、以下の3項目を環境管理基本重点テーマとして、継続的に改善活動に取り組んでいます。

- 1.電力使用量の削減
- 2.工場周辺の清掃等啓発活動
- 3.事務用紙使用量の削減



電力使用量の削減では、初年度で対前年比83%と大幅に使用量の削減に成功しました。また、継続的に行う会社周辺の清掃活動の結果、社内に5Sの意識

が根付き、製品品質に対する意識も向上し、より良いものをお客様にご提供することができるようになりました。

今後も、環境に配慮した企業活動を通じて、地域社会に貢献していきたいと考えております。



〒615-0803

京都市右京区西京極南庄境町7-1

TEL：075-313-6060 FAX：075-312-6525

URL：http://www.hohden.co.jp/

e-mail：hohden@hohden.co.jp

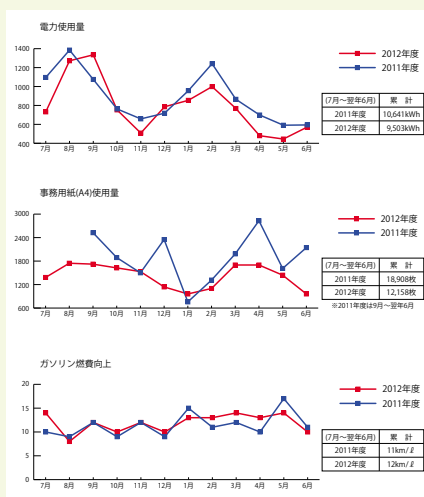
創立年月：昭和30年3月

有限会社 四条黒田

当社は、印刷物の企画・編集・印刷・製本、ホームページの制作を行っている会社です。KESでは2011年12月に認証を取得し、現在3年目の活動中です。

初年度は、「電力使用量」「事務用紙の削減」「ガソリン使用量の削減」を目標に掲げました。「電力使用量」は順調に削減できましたが、「事務用紙の削減」と「ガソリン使用量の削減」は、目標を達成することができませんでした。そこで再検討し、事務用紙に関しては、営業用校正紙を省き、事務処理用のプリントやコピーに重点をおき削減を徹底することにしました。

ガソリンの削減は、業務の繁忙により目標の設定が難しいので、「ガソリン燃費向上」に変更しました。



今年度は、更に不要な電灯の消灯、エアコンフィルタのこまめな清掃、両面コピー・電子媒体の活用により電力使用量を削減しています。

ガソリン燃費に関しても、低燃費車の導入をし取り組んでいます。



〒600-8495

京都市下京区四条通油小路西入 四条黒田ビル6F

TEL：075-213-1520 FAX：075-213-1521

URL：http://k3kuroda.macserver.jp/

e-mail：k3kuroda@apricot.ocn.ne.jp

創立年月：1993年5月

弊社は、木製梱包荷材の製造メーカーです。KESを取得させて頂いて11年目を迎えました。当初は、紙・ゴミ・電気の削減を目標としてスタートしました。電力削減に関しては「こまめなスイッチのON/OFF」をチェックシートを用いて活動したところ、効果は絶大でスタート前と比べ約半減するまでになり、無駄の多さを実感致しました。又、社員の環境に対する意識改革が様々な相乗効果を生み出しました。そして今年度は予てより構築したいと願っていたSR（社会的責任）を取得し新たなスタートを切りました。今後は更にSRに対する理解を深め、「企業の社会的責任」を果たしていきたいと考えております。



一部ではありますが、弊社のSRと環境への取り組みを一つずつ紹介させていただきます。

【コミュニティへの参画(SR)】

弊社がSR目標として掲げているコミュニティへの参画とは主に“地域教育への貢献”をモットーに以下のもので構成されています。

- 1.幼稚園で使用できる木製品の共同制作
- 2.木製端材の提供
- 3.小学生の工場見学
- 4.中学生の職場体験



【森林保全(環境)】

森林保全は“木”を扱う企業として必要不可欠な活動であると考え、2年前からおおつ環境フォーラムさんが主催されている里山保全の取り組みに年2回、社員全員で参加させて頂いております。

間伐・薪作り・下草刈り・チップ作り、そして水を守るための様々な活動をさせて頂いております。



〒520-0822
滋賀県大津市秋葉台8-10
TEL : 077-522-6738 FAX : 077-526-1621
e-mail : k031@clock.ocn.ne.jp
創立年月 : 昭和2年10月

当社は、スクリーン印刷と樹脂加工の技術と設備を集結し、印刷、加工、検査、出荷までを一貫した体制で、お客様のニーズにお応え致しております。

昨今では、LEDを光源とした蛍光灯、ランプ、投光器などの各種照明機器、導光板を利用した看板や照明など、時代に合ったニーズにお応えする製品も市場へお届けしております。

また、最近ではエコプームということもあり蓄電池・バッテリーライト・電源バックアップユニットの設計・開発を進め、現在、量産・販売を自社で開始しています。

当社では、KESステップ2を取得し、7年目となります。大手メーカー様との取引におきましては、高いレベルの品質システムの要求のみならず、環境負荷物質の管理体制についても強く要求されます。

その体制を構築する為に環境システムが必要と考え、KESステップ2を選択しました。

ISO14000に比べ、シンプルかつ急所を捉えた要求事項であると共に、システム維持費が安価であることが特徴と考えたからです。

KESステップ2を取得し、運用して以降、環境改善計画の取り組みを行い、各項目とも着実に実績を上げて来ましたが、下表は運用開始当初から現在の実績をまとめたものです。

2006年開始当初から現在までの実績(2012年度)	
電力使用量	12%削減
産業廃棄物	64%削減
事務用紙使用量	30%削減
エコロジー製品購入率	60%から90%へ
工場周辺の清掃	毎月実施

このデフレ市場の苦しい最中、ユーザー様の要求はますます高くなることも予測されますし、2013年4月より関西圏全般的電気料金も上がることになります。

企業にとっては非常に苦しい局面も、このような環境システムを通じ、要求事項対応への効率化や販路の拡大、経費及びコスト削減に積極的に活用して参りたいと考えております。



〒525-0043
滋賀県草津市馬場町1100番地9
TEL : 077-564-2449 FAX : 077-564-3940
URL : <http://www.kiryu-s.co.jp/>
e-mail : k.kami@kiryu-s.co.jp
創立年月 : 1983年1月

当協会は、平成5年に民法第34条に基づく財団法人として発足し、大津市政の一翼を担う監理団体として、都市公園の円滑な運営及び健全な利用の増進並びに緑化意識の普及啓発に寄与することを目的に事業展開を図っています。

平成20年度に公益法人制度改革関連三法が施行され、平成23年10月に「公益財団法人大津市公園緑地協会」として新たなスタートを切りました。市民の貴重な財産である



手のひら花苑

公園緑地を管理するとともに、緑を保全する立場から、環境マネジメントシステムの考え方に基づ

き、地球環境にやさしい環境活動を積極的に取り組んできました。

環境マネジメントシステムスタンダード(KESステップ1)を平成19年度に取得し、平成23年度には、KESステップ2を取得し、環境に影



花街道

響を及ぼすと考えられる項目を特定し、5施設で取り組んでいます。

取組項目としては、電気使用量、ガス使用量及び事務用紙使用量の削減に努め、緑の普及啓発活動として、地域における都市緑化の啓発、壁面緑化の推進及びヒートアイランド現象の緩和をゴーヤ等によりグリーンカーテンの設置。また、緑の活動支援事業として、小さくてかわいい花壇を作る「手のひら花苑」を面的に拡充へと発展した「花街道」を実施しました。

〒520-0047
滋賀県大津市御陵町4番1号
TEL : 077-527-1555 FAX : 077-527-1625
URL : <http://www.otsukoen.org/>
e-mail : otsukoen@train.ocn.ne.jp
創立年月 : 平成5年4月

当社は照明器具の製造、販売等及びLED、HEFLによるアプリケーション開発を行っています。弊社の経営方針は「お客様から尊敬される企業」を目指して、私たちは、経営理念と行動指針を実践していきたいと考えています。

経営理念は地域に密着した企業として、「もの作り」を通じ、誇りと希望をもって働くことのできる、さらには、社会、環境に貢献できる企業作りを行います。この理念を実践するためにもKESを取ることは大いなる動機づけとなり、平成18年3月にKESステップ1を取得しました。

6年が経過してKES認証取得後の効果及び変化をまとめてみました。

- ①社員全員で一致団結して取り組んだ結果、環境意識が高揚し職場が活性化し、より良くなった。
- ②社員全員で何かに継続して取り組む機会、活動を通じて外部から多くの刺激を受けるとともに、継続して全員で学習する習慣ができた。

③環境マネジメントシステムにあるPDCAの回し方などが理解されると共に仕事の進め方も変わってきた。

④家庭でも省エネが普通になった。

⑤環境改善は誰でもできて、すぐ成果がでるので面白い。

⑥電気使用量を削減できた。

⑦廃棄物のリサイクルの向上が図れた。

⑧社員の環境意識が変わり、職場だけでなく家庭や地域での活動にも積極的に取り組むようになった。

この①～⑧が一時的なものでない為にも、「継続的改善」を行い、企業の社会的責任を果たして健全な事業運営に邁進したいと思います。

2013年度の環境管理重点テーマ

- ①電気使用量の削減
- ②廃棄物のリサイクル促進
- ③工場周辺の清掃等啓発活動



〒528-0057
滋賀県甲賀市水口町北脇1750-2
TEL : 0748-62-2233 FAX : 0748-62-6537
URL : <http://www.tsujiko.com/>
e-mail : mnakamura@tsujiko.com
創立年月：昭和38年3月1日

当社は、半導体検査用、コネクタ用、ボールペンチップ用など、外径1mm以下の金属製超精密バネを製造しております。半導体用バネでは、髪の毛より細い、外径φ60μの世界最小クラスのバネまで手掛けております。コネクタ用は、携帯電話、パソコンなどの充電電池の接点に、ボールペンチップ用は、ボールペンのペン先の中に入れており、ペン先のボールをそっと押して書き味を良くしています。



KESに取り組み始めたのは、顧客からの環境に関する要望が増えた事から始まりました。そして、取り組み易く、コスト面でも負担の少ないKESが当社に適していると判断しました。節電、節水、近隣清掃、廃棄物削減等様々な活動に取り組んできました。今では、環境活動は環境委員以下全従業員が、当たり前の事として認識し取り組んでおります。

半導体は様々な電子機器に必要な不可欠なものであり、目に見えない所で、世界中で当社のバネが支えています。また、コネクタ用、ボールペンチップ用も同様です。当社のバネは、表立って目立つことはありませんが、世界を支えています。環境活動もまた、表立ったものではないかもしれませんが、世界(地球)を支える小さな力として取り組んでいく所存です。



〒221-0001
横浜市神奈川区西寺尾2-17-5
TEL : 045-423-6400 FAX : 045-423-6433
URL : <http://www.fineparts.co.jp/>
e-mail : info@fineparts.co.jp
創立年月：昭和62年11月

当社は、1950年に発足し、現在は化成品、樹脂、インキの3部門を営んでいます。特に化成品部の製品は世界中の化粧品メーカーと研究開発を行っており、ファンデーションやアイシャドウ、マニキュア、サンスクリーン等、広範囲に渡り世界中の化粧品に配合されています。樹脂部では、独自の分散・混練・混合技術をベースにお客様のニーズに合った高機能・高濃度マスターバッチを開発・製造しています。KESへの取り組みは2007年から行い、岡山樹脂工場にてKESステップ2を取得しました。現在まで以下5点の取り組みを重点的に行っています。①水使用量の低減②電気使用量の低減③啓発活動④化学物質管理⑤産業廃棄物の削減です。



啓発活動の周辺清掃の様子

2013年度でKESを取得して6年目になります。KESを取得して良かった点は、環境負荷に対する知識が深まった事です。それと並行して、環境負荷に対しての各目標を達成するため、設備や規制物質、産業廃棄物等のさまざまな情報を積極的に得ようになりました。目標達成とともにそれらへの知識も深まり、仕事にも大きくプラスになった事です。

環境負荷への具体的な施策例としては水使用量の低減です。その対策案としては、他の製造設備で使用した水を水封式の真空ポンプに再利用しました。また、製造設備の改善を行い、可能な限り水を循環して使用するようにしています。電気使用量の低減策としては、製造設備を改良する事により、製造時間を短縮し電気使用量の低減を達成しました。

実績としては、それぞれ2007年度と比べ2011年度で水使用量が70%の低減、電気使用量が

21%の低減と成果が認められています。

今後もKES活動に取り組み、より一層の知識を深める事により、環境負荷低減に向かって積極的に取り組んでいきたいと思っています。

項目	2007年度	2011年度	低減率(%)
電気使用量(kWh)	1,880,888	1,490,388	21
水使用量(m³)	39,952	12,037	70
産業廃棄物発生量(kg)	180,886	135,590	25

〒705-0035
岡山県備前市木谷437
TEL : 0869-67-1790 FAX : 0869-67-1825
URL : <http://www.daitokasei.com/>
e-mail : h.kizaki@dreamnet-daitokasei.co.jp
創立年月：1950年2月1日

株式会社 山下工業所

当社は、東海道新幹線開業の前年(1963年)に創業、今日まで、金属板から美しい三次元流線形曲面を作り出す「打ち出し板金」と呼ばれる熟練技能で、新幹線の『顔』となる先頭構体や計器盤などを製作してきました。

「現代の名工」、「黄綬褒章」を含め多数の勲章褒章受章者を輩出、新幹線製造を裏方で支えてきた実績が認められ、「ものづくり日本大賞・経済産業大臣特別賞」、「元気なモノづくり中小企業300社」選定などをいただいております。現在では、鉄道車両部



品や精密板金部品に加え、外壁や内装に使われる樹脂製大型建築資材を成形するための成形型など、保有技術に応用した異分野の製品類にも挑戦中です。

PDCAサイクルに沿って継続的改善を図るKESを構築・運用して、2008年3月にKES認証を取得。ムダ・ムリ・ムラのない「ものづくり」、一般廃棄物と産業廃棄物の削減、グリーン購入、工場周辺の清掃などの環境改善活動を全員参加で実施しており、2012年には本社での太陽光発電(49kW)を開始、

2013年には別工場での発電(40kW)も計画中です。

当社は山口県で最初にKESステップ2の認証を取得した企業であることを自覚し、広島KES推進機構(略称:HKES)と歩調を合わせ、県内地元メディアや近隣企業へのKES普及活動・働きかけを行っています。これからも、「環境にやさしいものづくり」を地道に実践し、企業としての社会的責任を果たしてまいります。

〒744-0002

山口県下松市東海岸通り1番27

TEL : 0833-41-3333 FAX : 0833-43-6914

URL : <http://www.yamashita-kogyosho.com/>

e-mail : m.fujii@odeko.co.jp

創立年月 : 1963年9月

株式会社 ジーエス・ユアサバッテリー中四国支社

当社は、中国・四国地区にて4輪、2輪自動車バッテリー及び充電機器の卸販売、カーステレオ、カーナビゲーション、その他の自動車用品卸販売を行っている会社です。当社では、環境対応商品『ECO.R』シリーズを販売しておりグループ全体でも環境改善に取り組んでいます。その為にジーエス・ユアサバッテリーの全支社でKES認証取得を目指す方針が出た事がKES取得のきっかけでした。環境改善の取組項目は、2010年度より環境対応商品『ECO.R』の拡販、一般ごみの削減、電力使用量の削減、事務用紙の削減、会社周辺に美化活動です。2010年1月KES認証取得に伴い、社員全員の環境改善意識が高まり各項目の目標達成することができました。特に『ECO.R』シリーズの拡販については、販売

活動を行いながら環境改善活動に取り組めた事は大きな利点でした。また、『ECO.R』シリーズを取扱いされている取引先の中でKESを取得した事は活動の成果と感じております。今後も環境対応商品の拡販を行いながら全社員で環境改善活動を充実させてまいります。



環境対応商品『ECO.R』シリーズ



エコキャラクターもりねずみの「しげるくん」

〒733-0822

広島県広島市西区庚後中4丁目14-8

TEL : 082-507-7201 FAX : 082-507-7175

URL : <http://gyb.gs-yuasa.com/>

創立年月 : 平成16年6月

岡本産業株式会社

弊社は、半導体製造装置などに用いられる、高精度加工部品を製作しております。高度な品質と精度を追求しており、ステンレス・アルミ・プラスチック樹脂などの素材を加工し、全長1m程度の部品から、数ミクロン単位の精度を必要とする微細な部品まで作り出す事が可能です。



弊社は、取引先からの要請を受け、平成19年に山口県KESステップ1取得認証の第1号事業所となりました。弊社の環境管理重点テーマとして以下の3項目を挙げ、継続的な活動を行っております。

- (1)電力使用量の削減
- (2)事務用紙使用量の削減
- (3)工場周辺の清掃等啓発活動

電力使用量の削減に特に力を入れ、二重窓・二重屋根を施設するなど積極的に活動に取り組んで参りました。事務用紙使用量の削減については、可能な限り図面を再利用し、取引先へ電子メールの活用を要請するなど、地道な活動を行っております。

その結果、認証を取得して以来毎年、電力使用量・事務用紙使用量ともに削減する事が

できております。

さらに、平成24年に30kWの発電能力を擁する太陽光パネルを設置し、平成25年より太陽光発電が可能となりました。これにより一層環境負荷の低減に貢献できると考えております。

今後も、全従業員共々「安心と信頼」をモットーに『環境に配慮した物づくり』を実践し、更なるKES環境改善活動に取り組んで参ります。

〒744-0027

山口県下松市南花岡5丁目2番1号

TEL : 0833-44-0003 FAX : 0833-43-1328

URL : <http://www.okamoto-sangyo.jp/>

e-mail : satoru.okamoto@okamoto-sangyo.jp

創立年月 : 昭和52年5月

福山鍛鋼造機株式会社

当社は、2,000t 鍛造プレスを中心としたクレーン用フックや車輪等の鍛造品、製鉄所やコイルセンター向けに、コイルリフター、トンク等省力化吊具の設計・製造・販売の専門メーカーです。

KESに取組むきっかけは、主要取引様からの要請があり2011年12月に取得費用が安価で判りやすいKESの認証取得を致しました。

当社の社是である「人の和、信頼、信用を重んじ、企業発展のために常に現状打開と研究開発に徹し、結果社員の幸福を願するものである」を



470tフック

行動規範とし、2011年7月から環境改善活動を開始しました。

初年度から以下の環境改善目標の達成および継続的改善に鋭意チャレンジしています。

- (1) 電力使用量の3%削減
- (2) 事務用紙使用量の1%削減
- (3) 工場周辺の清掃等啓発活動

全目標は達成しましたが、特に(1)項の削減達成につきましては、事務所電灯のLED化、省エネエアコンへの変更、工場スポットライトのLED化、大型設備稼働の集約を実行した事が大きな要因と考えております。

また、当社所属の鉄工組合理事長様からも、「工場や工場周辺の清掃がきれいになった」とお褒めのお言葉も頂いており、活動の励みとなっております。

今後は、産業廃棄物「廃プラ」の削減を目標項目に追加して省エネルギー、省資源化を更に進めるよう全員で頑張っていきたいと考えています。



産業廃棄物計量風景



歩道に植えた花と清掃活動

活動事例添付資料

項目	年度	2010年度 (KES取得前)	2011年度 (KES初年度)	削減率
電力使用量 (kWh)		1,027,308	948,752	7.60%
事務用紙使用量 (枚)		470,430	397,329	15.50%

〒721-0956

広島県福山市箕沖町105-5

TEL : 084-953-8181 FAX : 084-920-2016

URL : <http://www.ft-ind.co.jp/>

e-mail : kobiki@ft-ind.co.jp

創立年月 : 1963年(昭和38年)1月

サンスターグループ東京エリア

サンスター東京エリアでは環境改善活動の一環として、2007年よりKESに取組みを始めて、早くも7年目となりました。当初は自社ビルもあればテナントとして入居している拠点もあり、東京・神奈川・埼玉と複数の点存在し、環境に関する条約も様々で、環境影響項目を調べるのも大変でした。本社の環境委員会のサポートも得ながら、手探りで活動を重ねてきました。

当エリアの大きな特徴として、職制ではない横断の組織として、安全衛生委員会や職場懇談会、KESがあり、各委員やリーダーは任期を1年または2年までと決めています。皆で経験することによりエリア全体のレベルアップを目指しています。

2011年秋に港区および横浜の3箇所の営業拠点を本部のある芝公園のテナントビルに集約しました。本部機能と総務機能、そして販売店、卸店への営業活動、歯科ルートなどを担当するプログループ、サンスター技研の営業活



動が一体運営が可能となりました。KES活動もエリアにおけるすべての事業所、従業員で推進しています。

2012年度は、電力使用量の前年実績の維持、一般廃棄物の3%削減、事務用紙使用量の3%削減、グリーン購入率70%以上という目標を設定。合わせて啓発活動として、毎月オフィス近隣の街頭清掃活動を行いました。

2011年3月に発生した東日本大震災を境に、電気に対する意識が大きく変化し、今まで気にしていなかった昼休みの一斉消灯や廊下などの不要な照明の蛍光管を抜いたりして、細かな対策を実行しています。その結果、空調で使う動力以外の電灯使用量(照明+PC)が2011年以前と比較して約3割削減できています。

また、環境改善活動をキロワットやキログラムなどの単位で計画と実績を管理すると同時に、それぞれの活動をお金に置き換えて環境に影響を与える金額、例えば電気代としては前年では幾ら掛かっていたのが、今年は幾

らになったというように、社員全体が、より理解しやすい情報でも共有していきましました。

分散していた東京の営業拠点が集約でき、さまざまな経験を持った社員が集まることになったので、一人ひとりの知恵を持ち寄り、環境に良い影響を与えるにはどのようにしたら良いのかを考え、実践していきたいと考えています。環境活動は、一人ひとりの環境意識を高めることが重要になるため、将来的には東京エリアの全員が環境委員を経験できるようにしていきたいと考えています。そして、サンスターグループの社員としてオフィスだけでなく、その近隣地域でも積極的に環境への取り組みを実践していきたいと考えています。

〒105-0014

東京都港区芝3-8-2 芝公園ファーストビル21F

TEL : 03-5441-8202 FAX : 03-5441-8778

URL : <http://jp.sunstar.com/>

e-mail : katsuichi.mitsui@jp.sunstar.com

創立年月 : 1950年(昭和25年)11月

株式会社 ジーエス・ユアサバッテリー東北支社

当社は東北地区で自動車用バッテリー・充電器の卸販売、カーオーディオ・カーナビ等の自動車用品の卸販売をしている会社です。地球環境問題の中、経営の在り方が問われ、我々も何かできないか考えた時、当社の関西支社が2004年3月より先駆けてKESを実践していた事例を聞きシンプルで低コストに興味をわき2009年6月からKESへの取り組みを始めました。電気の使用量、事務用紙の削減、周辺清掃、地球環境にやさしい当社のECO.Rバッテリーの拡販、ECO.Rバッテリーの社外勉強会の月一回以上の実施を環境改善目標としました。

改善目標の中でもECO.Rバッテリーは、各部位にリサイクル素材を採用し、二酸化炭素排出量を12%削減しながら当社従来品に比べ平均約2%の燃費向上効果を上げる環境に配慮された高性能商品であり、日常の販売業務を環境改善活動に組み込み、また拡販のための社外勉強会も毎

月コツコツと実施できるようになり、営業マンの個々のレベルも上がり大変に良かったです。その結果、実績も毎年KES改善目標をクリアしております。(新ECO.Rバッテリーが今年7月1日発売)



2011年3月11日東日本大震災が発生いたしました。日頃のKES活動の成果が、商品等整理整頓ができており、商品の損失やけが人もなかったことが幸いでした。いつも周辺清掃していた社屋前の公園は仮設住宅となりましたがKES活動は滞りなく実践してまいりました。震災直後、全国の皆さん

から頂いたあたたかいご支援は決して忘れることはありません。この感謝の気持ちを何かお返ししたいと今年は、ブルタブやエコキャップを集めて寄付することを環境改善目標として取り組んでおります。

今後も地球の一員と自覚してKES活動を推進してまいります。



〒983-0025

仙台市宮城野区福田町南1-1-30

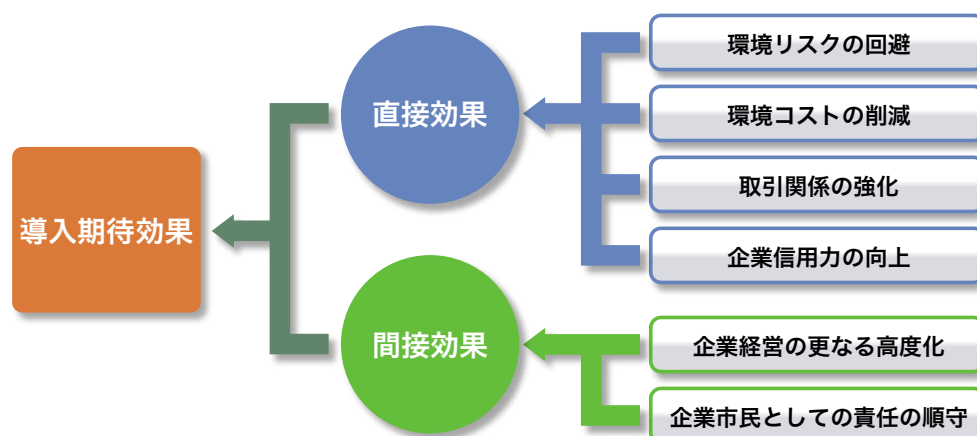
TEL : 022-786-5680 FAX : 022-786-5691

URL : <http://gyb.gs-yuasa.com/>

e-mail : hirosi.inoue@jp.gs-yuasa.com

創立年月 : 平成16年6月

KES環境マネジメントシステムを構築することにより、次のような導入効果が、期待できます。



グリーン調達基準にKESを適用する行政・企業 (2012年12月現在)

グリーン調達の基準として、ISO14001認定取引先又はKES審査登録取引先を優遇されている行政・企業

京都府	CISCO SYSTEMS	ダイキン工業	古河電工
京都市	FDKグループ	月星製作所	北海道電力
京田辺市	ジーエス・ユアサコーポレーション	ティラド	ボッシュ
福知山市	KDDI	デンソー	堀場製作所
舞鶴市	NHVコーポレーション	豊田自動織機	ミスミグループ
宮津市	NTTコミュニケーションズ	日新イオン機器	ミズノ
八幡市	NTTドコモ	日新電機	ミツバ
久御山町	NECフィールディング	ニチコングループ	三菱電機
宇治田原町	アイチコーポレーション	日本アビオニクス	村田機械
精華町	アルバックグループ	日本ガイシ	村田製作所
東京都	イトーキ	日本信号	メタウォーター
滋賀県	オムロン	日本電気(NEC)	モリタ製作所
大阪府	九州電力	日本無線	安川電機グループ
神戸市	グローリー	日本ビクター	アズビルグループ
三重県	コクヨ	ノーリツ鋼機	横河グループ
岩手県	光電製作所	日立化成	リーダ電子
神奈川県	サンコールグループ	日立金属	リケンテクノス
横浜市	三洋化成工業	日立情報通信エンジニアリング	リコーグループ
鹿児島県	四国電力	日立製作所	リンナイ
鹿児島市	島津製作所	日立マクセル	ワコール
八尾市	シャープ	パイオニア	
宮城県	昭和シェル石油	富士通	
仙台市	新電元グループ	富士フィルムグループ	
環境省		古野電気	

グリーン調達の基準として、KESをEMSとして認められている企業

NTT	キヤノン	ソニー RMC/CSセンター	ソフトバンクモバイル
カシオ	京セラ	大日本スクリーン製造	ソフトバンクBB
関西電力	資生堂		ソフトバンクテレコム



特定非営利活動法人 KES環境機構



組織概要

組 織 の 名 称	特定非営利活動法人 KES環境機構
設 立	2007年4月2日(注)
会 員 数	129(個人・団体含)2013年3月現在

(注)創立は、京のアジェンダ21フォーラムKES認証事業部として2001年4月1日

役員一覧

代 表 理 事	内藤 正明
副代表理事	浅岡 美恵
専 務 理 事	津村 昭夫
常 務 理 事	
理 事	枚本 育生 黄瀬 謙治 浅野 彰 井田 玉枝 岸 孝雄 菅野 勝義 山下 正光 木村 二郎
監 事	原 強 幸前 清孝
相 談 役	西田 功 平塚 憲

沿革 (登録件数は、協働機関を含む)

年 度 登録件数	年 度 登録件数
1998年 ☆京のアジェンダ21フォーラム設立 ☆中小企業向けEMSの検討に取り組む	2008年 2,593件 ☆エイチ・イー・エス推進機構(北海道)と協働活動契約を締結 ☆京都自治110年記念表彰受賞 ☆京都市教育委員会より第60回教育功労者表彰受賞 ☆自己評価員養成講座をスタートさせる
1999年 ☆「京都環境マネジメントシステム・スタンダード」略称KESとして策定する規格初版発行	2009年 3,271件 ☆(財)ソロブチミスト日本財団から環境貢献賞で感謝状授与 ☆広島KES推進機構(広島)と協働活動契約を締結 ☆KES関東(東京)と協働活動契約を締結 ☆あたほ環境機構(東京)と協働活動契約を締結 ☆東日本環境機構(仙台)と協働活動契約を締結 ☆JAB(日本適合性認定協会)が主催する第1回EMS交流会に参加 ☆京都市学校版KESをスタートさせ、初年度小学校179校、中学校80校の登録をする
2000年 ☆京都市内の7社を対象に試行を開始する	2010年 3,640件 ☆特許庁より商標登録KES(登録第5301460号)が登録された ☆アルプス環境フォーラム(長野)と協働活動契約を締結 ☆大阪KES環境機構(大阪)と協働活動契約を締結
2001年 104件 ☆京のアジェンダ21フォーラムKES認証事業部発足 ☆試行の4社を審査し合格として登録する ☆正式にコンサルタント・審査を開始する	2011年 3,945件 ☆「低炭素都市推進国際会議in京都」でKESを発表 ☆創立10周年記念式典を開催 ☆愛知環境機構(愛知)と協働活動契約を締結 ☆鳥取県と協働活動契約を締結 ☆京都府から京都府開庁記念日に「多年にわたりKES環境マネジメントシステムの中小企業・自治体への導入促進により環境保全に貢献」したとして表彰を受ける
2002年 216件 ☆発足1周年記念式典を開催し、名称をKES環境マネジメントシステム・スタンダードとする ☆朱雀第三小学校が学校として初めてKESを取得 ☆おおつ環境フォーラム(大津)と協働活動契約を締結	2012年 4,193件 ☆大阪中央KES(大阪)と協働活動契約を締結 ☆持続可能な社会への貢献を最大化するための「KESステップ2SR(社会的責任)」と、低炭素・低エネルギー社会の実現のための「KESステップ2En(エネルギーマネジメント)」の2つの新規格の審査登録を開始 ☆KES北陸環境機構(石川)と協働活動契約を締結
2003年 329件 ☆いわて環境マネジメントフォーラム(岩手)と協働活動契約を締結 ☆青森環境マネジメントフォーラム(青森)と協働活動契約を締結	
2004年 596件 ☆こうべ環境フォーラム(神戸)と協働活動契約を締結 ☆(株)日立製作所グループ資材本部(東京)と協働活動契約を締結 ☆みえ環境県民運動協議会(三重)と協働活動契約を締結 ☆地域活性化LA21(宝塚)と協働活動契約を締結	
2005年 1,012件 ☆(株)環境ソフトウェア研究所ESL(東京)と協働活動契約を締結	
2006年 1,547件 ☆創立5周年・登録1,000件記念式典開催 ☆エコサポートTGAL(鹿児島)と協働活動契約を締結 ☆エコアクション21と産業廃棄物処理業者の相互認証契約を締結	
2007年 2,069件 ☆ヨコハマみらい環境協議会(横浜)と協働活動契約を締結 ☆環境会議所東北(仙台)と協働活動契約を締結 ☆特定非営利活動法人KES環境機構として独立する ☆第1回京都創造者賞<環境・景観部門>受賞	

Q1. KESの審査・登録はどこが行っているのですか？

A. 特定非営利活動法人KES環境機構が行っています。

Q2. 特定非営利活動法人KES環境機構はどんな組織ですか？

A. 環境と共生する持続可能な社会作りを目指す京のアジェンダ21フォーラムの「KES認証事業部」として2001年4月に創立されました。審査・登録件数の増加などに対応するため、2007年4月より特定非営利活動法人KES環境機構に生まれ変わりました。

Q3. コンサルタントと審査は同じ組織(KES環境機構)が行うのですか？

A. コンサルタントも審査もKES環境機構が行いますが、コンサルタントと審査は別の審査員が行います。
なお、KES審査員は、ISO14001審査員補以上の有資格者で、2ヶ月毎のKES審査員研修会受講が義務付けられています。

Q4. KESに取り組みたいのですが、何から始めればよいのでしょうか？

A. まずはKES構築講座を受講してください(講座日数:1日、有料、毎月開催)。
KES規格の内容、取組の進め方についてKES審査員が講義いたします。KESホームページからも申し込みます。

Q5. 審査・登録にかかる期間はどれくらいですか？

A. 平均的にステップ1で約6ヶ月、ステップ2では約7ヶ月です。
ステップ2SR又はステップ2Enの場合も構築のための作業量は少し増えますが、ほぼステップ2と同様です。ステップ2からステップ2SR又はステップ2Enに移行する場合は、約5～6ヶ月です。

Q6. 審査・登録にかかる費用はどれくらいですか？

A. 標準(従業員100名以下、事業所1ヶ所、京都市周辺)では表のとおりです。

【費用】	初回審査費用	標準コンサル費用	2年目以降の確認審査費用
ステップ1	約6万円	約4万円	約3万円
ステップ2	約21万円	約7万円	約10万円
ステップ2SR又はステップ2En	約23万円	約8万円	約11万円
ステップ2から2SR又は2Enへ移行	約11万円	約5万円	約11万円

注)上表は消費税を含めた概算値です。ステップ2からSR又はEnへの移行は、確認審査に合わせた実施も可能です。

Q7. KESの登録有効期間はどれくらいですか？

A. KESの登録有効期間は3年間です。中間の1年目・2年目は確認審査を受けていただき、3年目の更新審査で合格すれば継続いただけます。

Q8. ステップ2は、ステップ1の登録後にしか審査を受けられませんか？

A. いきなりステップ2の審査を受けていただくことも可能です(ステップ1の取得がステップ2の審査申請の条件ではありません)。
同様に、白紙の状態から、ステップ2SR又はステップ2Enを審査申請いただくことも可能です。



KES倶楽部とは…KES審査・登録組織の交流会です。

設立目的

KES環境マネジメントシステムの運用や環境改善活動のための情報提供、環境保全活動を通じてエコビジネス創出の機会づくりなどを目指します。

活動内容

- ・ 環境情報をテーマにした交流研修会の開催
- ・ KES倶楽部メールマガジンの配信
2007年9月配信の第53号よりHTML形式とテキスト形式の両方に対応する形式にて配信しています。

会 員

全審査・登録組織参加制とします。
会費2000円はKES確認審査受審時に1回のみ徴収
交流研修会は参加の都度、実費徴収

KES倶楽部についてのお問い合わせはこちらまで

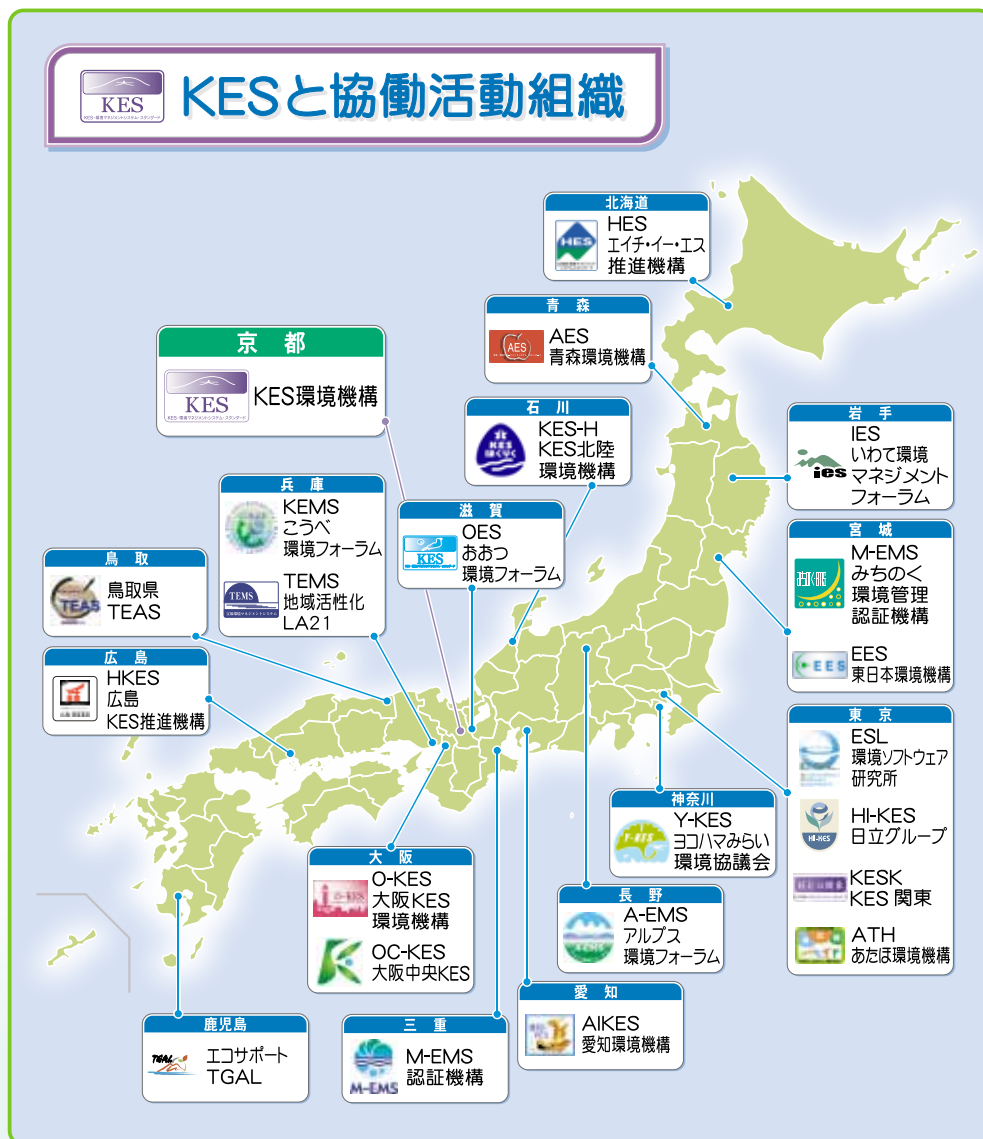
KES倶楽部世話人代表
田中 淳史 (三共精機株式会社)
KES倶楽部事務局長
酒井 保治 E-Mail: sakai@keskyoto.org

事務局

特定非営利活動法人 KES環境機構
〒615-0801
京都府京都市右京区西京極豆田町2 京都工業会館内2F
TEL/FAX:075-323-6686
E-Mail: kes-ems@keskyoto.org



KESと協働活動組織



連絡先(TEL)

京都	KES	075-321-4767
滋賀	OES	077-528-2020
青森	AES	080-6057-6016
岩手	IES	019-643-6410
兵庫	KEMS	078-367-2640
東京	HI-KES	03-4235-4336
三重	M-EMS	059-221-1605
兵庫	TEMS	0797-74-7741
東京	ESL	03-5645-8183
鹿児島	TGAL	099-223-6425
神奈川	Y-KES	045-232-4593
宮城	M-EMS	022-218-0761
北海道	HES	011-241-6733
広島	HKES	090-7970-4621
東京	KESK	090-6148-1845
東京	ATH	03-6450-4170
宮城	EES	022-293-2281
長野	A-EMS	026-244-4560
大阪	O-KES	072-991-8878
愛知	AIKES	052-858-4363
鳥取	TEAS	0857-26-7874
大阪	OC-KES	06-6260-7047
石川	KES-H	090-6810-7233

お問合せ・お申込み



特定非営利活動法人 KES環境機構

〒615-0801 京都市右京区西京極豆田町2番地 京都工業会館2F

TEL:075-321-4767 075-323-6686

FAX:075-322-6901

E-mail: kes-ems@keskyoto.org

URL: http://www.keskyoto.org/

KES審査・登録事業所 環境取組事例集

●発行

特定非営利活動法人 KES環境機構

平成25年7月第3版改訂、平成27年2月第2刷

